



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Nobuya SATO et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: January 29, 2002

Examiner:

For: INSURANCE SYSTEM, INSURANCE SERVER, INSURANCE SYSTEM OPERATION METHOD, AND INSURANCE SERVER PROGRAM STORAGE MEDIUM

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN  
APPLICATION IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-332485

Filed: October 30, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: January 29, 2002

By: 

James D. Halsey, Jr., Senior Counsel  
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500  
Washington, D.C. 20001  
(202) 434-1500

3  
38-02

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

Jc872 U.S. PTO  
10/057884  
01/29/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2001年10月30日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2001-332485

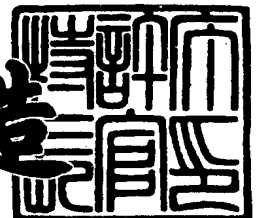
出 願 人  
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年12月 7日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3107361

【書類名】 特許願

【整理番号】 0190055

【提出日】 平成13年10月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明の名称】 保険システム、保険サーバ、保険システム運用方法、保険サーバプログラム

【請求項の数】 8

【発明者】

    【住所又は居所】 鳥取県鳥取市永楽温泉町271番地 株式会社富士通鳥取システムエンジニアリング内

    【氏名】 佐藤 暢哉

【特許出願人】

    【識別番号】 000005223

    【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100094330

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 山田 正紀

【選任した代理人】

    【識別番号】 100109689

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 三上 結

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 017961

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

特 2 0 0 1 - 3 3 2 4 8 5

【物件名】            要約書    1

【包括委任状番号】    9912909

【プルーフの要否】    要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 保険システム、保険サーバ、保険システム運用方法、保険サーバプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 保険の申込みを行う申込者が操作するクライアントと、  
前記申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶部と、

前記申込者から前記クライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付部と、

前記申込受付部によって受け付けられた保険の申込みに対する可否を、前記申込者情報記憶部に記憶されている申込者情報に基づいて審査する審査部と、

前記審査部による審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約部とを備えたことを特徴とする保険システム。

【請求項 2】 前記申込者が保険の申込みに先立って支払った料金を記憶する料金記憶部と、

前記契約部によって保険が契約された場合に、その保険の保険料を、前記料金記憶部に記憶されている料金を使って精算する精算部とを備えたことを特徴とする請求項 1 記載の保険システム。

【請求項 3】 前記契約部によって契約された保険の内容と、前記申込受付部によって申込みが受け付けられた保険の内容とが一致していることを確認することにより、前記契約部によって契約された保険の正当性を認証する第 1 の認証部を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の保険システム。

【請求項 4】 複数の前記契約部を備えるとともに、

任意の 1 つの契約部によって保険が契約される際に、その保険の申込みを行った申込者について、今回契約される保険における保険金の金額と、複数の前記契約部で既に契約されている保険における保険金の金額とを合計し、その合計金額が規定の上限内に収まっていることを確認することにより、今回契約される保険の正当性を認証する第 2 の認証部を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の保険システム。

【請求項 5】 保険の申込みを行う申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶部と、

前記申込者から、該申込者が操作するクライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付部と、

前記申込受付部によって受け付けられた保険の申込みに対する可否を、前記申込者情報記憶部に記憶されている申込者情報に基づいて審査する審査部と、

前記審査部による審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約部とを備えたことを特徴とする保険サーバ。

【請求項 6】 前記申込者が保険の申込みに先立って支払った料金を記憶する料金記憶部と、

前記契約部によって保険が契約された場合に、その保険の保険料を、前記料金記憶部に記憶されている料金を使って精算する精算部とを備えたことを特徴とする請求項 5 記載の保険サーバ。

【請求項 7】 保険の申込みを行う申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶ステップと、

前記申込者から、該申込者が操作するクライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付ステップと、

前記申込受付ステップで受け付けられた保険の申込みに対する可否を、前記申込者情報記憶ステップで記憶された申込者情報に基づいて審査する審査ステップと、

前記審査ステップによる審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約ステップとを含むことを特徴とする保険システム運用方法。

【請求項 8】 コンピュータに組み込まれて、そのコンピュータを、

保険の申込みを行う申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶部と、

前記申込者から、該申込者が操作するクライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付部と、

前記申込受付部によって受け付けられた保険の申込みに対する可否を、前記申

込者情報記憶部に記憶されている申込者情報に基づいて審査する審査部と、

前記審査部による審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約部とを備えた保険サーバとして動作させることを特徴とする保険サーバプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、申込者から通信網を介して保険の申込みを受けて、その保険を契約する保険システムおよび保険サーバ、その保険システムの運用方法、コンピュータに組み込まれてそのコンピュータを保険サーバとして動作させる保険サーバプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より、インターネット等を介していわゆるオンラインで保険を申し込むことができるシステムやサーバが知られており、いちいち保険会社に出向いて申し込む必要がなくて便利である。

【0003】

しかし、これらのシステムやサーバは、単に申込みを行うことができるだけであって、保険の契約までオンラインで行うことができる保険システムや保険サーバはまだ存在しない。

【0004】

このような保険システムや保険サーバが実現されれば、場所を選ばずに必要な保険を必要なときだけ契約することができるので、例えば、ゴルフをするときの日掛けのゴルファー保険や、登山をするときのレジャー保険などを必要に応じて細かく契約するなどといった運用が期待される。つまり、リスクを細分化して、少ない保険料で大きな保障を得ることが期待される。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、保険には、契約前に申込者の健康状態などを調べて、保険の契約が

認められるか否かの審査を行うものと、そのような審査を経ずに誰でも契約できるものとが存在する。

【0006】

上述した審査を経ない無審査の保険の場合には、従来から、例えば海外旅行時に空港で申し込む日掛けの傷害保険などといったように、申込みの後、即時に契約が成立する保険が存在する。しかし、このような無審査の保険の場合には、申込者の個々の状況を参酌せずに、リスクが極めて高い者から低い者まで一律の保険料が設定されるので、一般に高い保険料とならざるを得ないという問題がある。

【0007】

これに対し、上述した審査を経る保険の場合には、申込者の個々の状況が参酌された保険料が設定されるので、申込者のリスクに応じた保険料が設定される。しかし、このような審査を前提とした保険の手続きを単純にオンライン化した場合には、審査のための手続きに時間を要し、保険契約が有効となるのが遅れ、必要なときに迅速に保険に加入することができないという問題がある。

【0008】

本発明は、上記事情に鑑み、上述したような審査を経る保険に迅速に加入することができる保険システムおよび保険サーバ、そのような保険システムの運用方法、コンピュータをそのような保険サーバとして動作させる保険サーバプログラムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成する本発明の保険システムは、保険の申込みを行う申込者が操作するクライアントと、

上記申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶部と、

上記申込者から上記クライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付部と、

申込受付部によって受け付けられた保険の申込みに対する可否を、申込者情報



記憶部に記憶されている申込者情報に基づいて審査する審査部と、

審査部による審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約部とを備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

本発明の保険システムによれば、予め申込者情報記憶部に記憶されている申込者情報に基づいて、保険が申し込まれた際に審査が行われるので、申込者情報を得るための時間が節約でき、保険に迅速に加入することができる。

【 0 0 1 1 】

本発明の保険システムは、契約部によって保険が契約された場合に、銀行口座からの自動引き落としなどによって保険料が支払われるものであってもよいが、保険契約の効力が発生するためには保険料の支払いが行われることが条件となる場合が多く、銀行口座からの自動引き落としなどが利用されて保険料が支払われる場合には、自動引き落としなどに要する時間のために保険の効力発生が遅れてしまうことが考えられる。

【 0 0 1 2 】

そこで本発明の保険システムは、上記申込者が保険の申込みに先立って支払った料金を記憶する料金記憶部と、

契約部によって保険が契約された場合に、その保険の保険料を、料金記憶部に記憶されている料金を使って精算する精算部とを備えることが好適である。

【 0 0 1 3 】

この好適な構成の保険システムによれば、いわゆるプリペイド方式で保険料が予め支払われているため、自動引き落としなどに要する時間が節約され、申込みの後、即時に保険の効力が発生することとなる。

【 0 0 1 4 】

また、本発明の保険システムは、契約部によって契約された保険の内容と、申込受付部によって申込みが受け付けられた保険の内容とが一致していることを確認することにより、契約部によって契約された保険の正当性を認証する第1の認証部を備えることが好適である。

【 0 0 1 5 】

このような第 1 の認証部を備えた保険システムによれば、申込者が申し込んだ内容で保険契約が結ばれることが保証される。

【 0 0 1 6 】

更に、本発明の保険システムは、複数の契約部を備えるとともに、

任意の 1 つの契約部によって保険が契約される際に、その保険の申込みを行った申込者について、今回契約される保険における保険金の金額と、複数の契約部で既に契約されている保険における保険金の金額とを合計し、その合計金額が規定の上限内に収まっていることを確認することにより、今回契約される保険の正当性を認証する第 2 の認証部を備えることが望ましい。

【 0 0 1 7 】

このような第 2 の認証部を備えた保険システムによれば、不正な多重の保険契約を回避することができる。

【 0 0 1 8 】

上記目的を達成する本発明の保険サーバは、保険の申込みを行う申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶部と、

上記申込者から、その申込者が操作するクライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付部と、

申込受付部によって受け付けられた保険の申込みに対する可否を、申込者情報記憶部に記憶されている申込者情報に基づいて審査する審査部と、

審査部による審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約部とを備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

本発明の保険サーバは、上記申込者が保険の申込みに先立って支払った料金を記憶する料金記憶部と、

契約部によって保険が契約された場合に、その保険の保険料を、料金記憶部に記憶されている料金を使って精算する精算部とを備えることが好適である。

【 0 0 2 0 】

上記目的を達成する本発明の保険システム運用方法は、保険の申込みを行う申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶ス

テップと、

前記申込者から、該申込者が操作するクライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付ステップと、

前記申込受付ステップで受け付けられた保険の申込みに対する可否を、前記申込者情報記憶ステップで記憶された申込者情報に基づいて審査する審査ステップと、

前記審査ステップによる審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約ステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

また、上記目的を達成する本発明の保険プログラムは、コンピュータに組み込まれて、そのコンピュータを、

保険の申込みを行う申込者に関する申込者情報を、保険の申込みに先立って記憶する申込者情報記憶部と、

前記申込者から、該申込者が操作するクライアントおよび通信網を介して保険の申込みを受ける申込受付部と、

前記申込受付部によって受け付けられた保険の申込みに対する可否を、前記申込者情報記憶部に記憶されている申込者情報に基づいて審査する審査部と、

前記審査部による審査の結果が、許可を表す結果である場合に、申し込まれた保険を契約する契約部とを備えた保険サーバとして動作させることを特徴とする。

【 0 0 2 2 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態について説明する。

【 0 0 2 3 】

図 1 は、本発明の保険サーバの一実施形態が組み込まれた、本発明の保険システムの一実施形態を示す図である。この保険システムにおいて、本発明の保険運用方法の一実施形態が実施される。

【 0 0 2 4 】

この保険システム 1 0 は、インターネットに代表される通信網 2 0 によって相

互に接続された、サーバ 1 1 と、クライアント 1 2 と、認証装置 1 3 とで構成されている。サーバ 1 1 は、本発明の保険サーバの一実施形態であり、後述するように、本発明にいう申込者情報記憶部の一例と、申込受付部の一例と、審査部の一例と、契約部の一例とを備えたものである。このサーバ 1 1 は、本実施形態では保険会社によって運用される。また、クライアント 1 2 は、本発明にいうクライアントの一例であって、本発明にいう申込者に相当する保険システム 1 0 の利用者によって操作されるものである。また、認証装置 1 3 は、本発明にいう第 1 の認証部の一例と第 2 の認証部の一例とを兼ねたものであって、本実施形態では、保険会社から独立した保険証書認証機関によって運用される。

## 【 0 0 2 5 】

図 2 は、図 1 に示す保険システム 1 0 の動作と詳細な構成を示す図である。

## 【 0 0 2 6 】

この図 2 には、図 1 にも示したサーバ 1 1 と、クライアント 1 2 と、認証装置 1 3 からなる保険システム 1 0 が示されており、これらサーバ 1 1、クライアント 1 2、認証装置 1 3 の動作が実線の矢印で示されている。これらの実線の矢印は、本発明の保険システム運用方法の一実施形態を表しており、この図 2 にサーバ 1 1 の構成部分として示されている機能ブロックなどは、本発明の保険サーバプログラムの一例を表している。

## 【 0 0 2 7 】

保険システム 1 0 を利用して保険の申込みを行うことを希望する利用者は、予め保険会社とシステム利用の契約を交わしており、保険料の先払いと、保険契約時の審査に必要な情報の提供とを行っている。利用者によって先払いされた保険料は、保険会社が所有し管理している口座に入金されており、その口座の残高が、サーバ 1 1 に備えられている顧客口座データベース 1 1 4 に記憶されている。この顧客口座データベース 1 1 4 は、本発明にいう料金記憶部の一例である。また、保険契約時の審査に必要な情報として利用者から提供された情報は、サーバ 1 1 に備えられている顧客情報データベース 1 1 1 に記憶されている。この顧客情報データベース 1 1 1 は、本発明にいう申込者情報記憶部の一例である。

## 【 0 0 2 8 】

図3は、顧客情報データベース111に記憶される情報の項目を示す図である。

#### 【0029】

顧客情報データベース111には、保険システム10の利用者毎に、この図3に示す各項目からなる情報300が記憶される。顧客情報データベース111に記憶される情報300を構成する項目には、利用者が、契約を交わした本人であることを確認するための本人確認ID301と、保険料の先払いに対して発行されるプリペイドカードに記載されている、先払いの口座を特定するプリペイドID302と、利用者の正当性を確認するためのパスワード303が含まれている。また、この情報300を構成する項目には、契約者（即ち利用者）の、氏名、年齢、住所、性別等を含んだ個人情報304と、保険システム10に前回ログインしたときの日時305も含まれており、更に、保険商品の購入履歴等といった、保険会社の顧客としての情報306も含まれている。

#### 【0030】

図2に戻って説明を続ける。

#### 【0031】

利用者による操作に応じてクライアント12が、保険会社が運営している保険申込サイトへのアクセス画面をブラウザで表示する（ステップS101）ところから保険システム10の動作が開始される。このアクセス画面を介して利用者は、保険システム10へのログインのために、上述した本人確認IDやプリペイドIDやパスワードを入力し、入力されたIDなどはサーバ11に送信される（ステップS102）。サーバ11では、送信されてきた本人確認IDやプリペイドIDやパスワードを、顧客情報データベース111に記憶されているIDなどと比較することにより、利用者が、保険会社とシステム利用の契約を交わした契約者であることを確認する（ステップS103）。ここで、契約者であることが確認できなかった場合には所定のエラー処理が行われる（ステップS104）。

#### 【0032】

サーバ11によって契約者であることが確認された場合には、サーバ11からクライアント12に対して、その契約者が保険契約を結ぶことができる保険商品

が、その契約者の個人情報に応じた保険料とともに提示される（ステップ S 1 0 5）。

#### 【0033】

クライアント 1 2 を操作する利用者は、提示された保険商品の中から保険の申込みを行う商品を選択するとともに、保険の申込みに必要な情報を入力する（ステップ S 1 0 6）。入力される情報には、保険の種類と、保険の有効期間（開始日時および終了日時）が含まれる。

#### 【0034】

なお、サーバ 1 1 からクライアント 1 2 に対して保険商品が提示される際には、顧客情報データベース 1 1 1 に記憶されている個人情報 3 0 4 が、保険の申込用の入力フォームに書き込まれて提示されており、利用者は、この個人情報を必要に応じて書き換えることで、保険の申込みに必要な情報を簡単に入力することができる。

#### 【0035】

このように入力された情報はサーバ 1 1 に送られ、そのサーバ 1 1 に備えられた 1 次保険申込情報データベース 1 1 2 に格納されて記憶される（ステップ S 1 0 7）。この 1 次保険申込情報データベース 1 1 2 に記憶される情報の項目は、後述する 2 次保険申込情報データベース 1 1 3 に記憶される情報の項目、および認証装置 1 3 に備えられた保険申込情報データベース 1 3 1 に記憶される情報の項目と同じ項目である。

#### 【0036】

図 4 は、1 次保険申込情報データベース 1 1 2 などに記憶される情報の項目を示す図である。

#### 【0037】

1 次保険申込情報データベース 1 1 2 などには、保険会社への保険申込毎に、この図 4 に示す各項目からなる情報 4 0 0 が記憶される。

#### 【0038】

1 次保険申込情報データベース 1 1 2 に記憶される情報 4 0 0 を構成する項目には、保険会社、およびその保険会社の支社のそれぞれを特定する保険会社コー

ド401および保険支社コード402と、後述する第1の保険申請電文が送信された日時403が含まれており、これらの項目の内容はサーバ11によって与えられるものである。

#### 【0039】

また、この情報400を構成する項目には、保険の申込みを行った顧客（利用者）の、氏名、住所、年齢、ID、連絡先などからなる保険申込者顧客情報404と、保険の申込みが行われた保険商品の種類などを表す情報405が含まれ、その保険商品について申し込まれた有効期間を表す、保険有効開始日時406および保険有効終了日時407も含まれており、これらの項目は、クライアント上のブラウザを介して利用者によって入力されたものである。

#### 【0040】

更に、1次保険申込情報データベース112に記憶される情報400を構成する項目には、受け付けた保険の申込みに対して保険会社が一意に付与する保険会社受付番号408と、その申込みが受け付けられた日時を示す保険会社受付日時409も含まれており、さらにまた、その申込みに対して保険証書認証機関が一意に付与する保険認証機関受付番号410と、その申込みが保険証書認証機関によって受け付けられた日時を表す保険認証機関受付日時411も含まれている。保険会社受付番号408と保険認証機関受付番号410は、いずれも、受付の日付を表す4桁の数値と、各受付日毎にリセットされる8桁の通し番号とで構成されている。

#### 【0041】

なお、図2に示す1次保険申込情報データベース112では、図4に示す各項目のうち、第1の保険申請電文が送信された日時403と、保険認証機関受付番号410と、保険認証機関受付日時411は空欄となっている。

#### 【0042】

図2のステップS107で、1次保険申込情報データベース112に情報が格納されると、1次保険申込情報データベース112では、上述した保険会社受付番号408と保険会社受付日時409が発行される。即ち、この1次保険申込情報データベース112は、本発明にいう申込受付部の一例である。また、その1

次保険申込情報データベース112から、認証装置13に備えられた保険申込情報データベース131に、以下説明する第1の保険申請電文が送信される（ステップS108）。

【0043】

図5は、第1の保険申請電文を表す図である。

【0044】

この第1の保険申請電文420は、1次保険申込情報データベース112に記憶されている情報を保険申込情報データベース131に伝達するための電文であり、この第1の保険申請電文420には、保険認証機関受付番号410と保険認証機関受付日時411とを除いて、図4に示す各項目と全く同じ項目が含まれている。

【0045】

この第1の保険申請電文420には、1次保険申込情報データベース112によってこの第1の保険申請電文420が送信された日時403が書き込まれている。また、この第1の保険申請電文420には、上述した保険認証機関受付番号410や保険認証機関受付日時411に替えて所定のダミーデータ412が書き込まれている。

【0046】

このような第1の保険申請電文420が、図2のステップS108で保険申込情報データベース131に送信されると、保険申込情報データベース131は、その第1の保険申請電文420によって伝達されてきた情報を、図4に示す各項目からなる情報400として記憶し、上述した保険認証機関受付番号410と保険認証機関受付日時411を発行する。そして、発行された保険認証機関受付番号410や保険認証機関受付日時411を含んだ、以下説明する第2の保険申請電文が保険申込情報データベース131からサーバ11の2次保険申込情報データベース113に送信される（ステップS109）。

【0047】

図6は、第2の保険申請電文を表す図である。

【0048】



この第2の保険申請電文440は、保険申込情報データベース131に記憶されている情報を2次保険申込情報データベース113に伝達するための電文であり、この第2の保険申請電文440には、図4に示す各項目と全く同じ項目が含まれている。また、この第2の保険申請電文440には、保険申込情報データベース131によって発行された保険認証機関受付番号410と保険認証機関受付日時411が書き込まれており、さらに、所定のダミーデータ413も含まれている。

## 【0049】

このような第2の保険申請電文440が、図2のステップS109で2次保険申込情報データベース113に送信されると、第2の保険申請電文440によって伝達された情報が、図4に示す各項目からなる情報400として2次保険申込情報データベース113に記憶される。

## 【0050】

このように、1次保険申込情報データベース112と保険申込情報データベース131と2次保険申込情報データベース113に順次に情報が記憶されることにより、保険会社と保険証書認証機関で、保険の申込内容が共有される。

## 【0051】

上述したステップS107で保険の申込みが行われ、その申込みの内容が保険会社と保険証書認証機関とによって共有されると、保険会社のサーバ11では、申し込まれた保険に関して、利用者との保険契約の可否が審査される（ステップS110）。このステップS110は、本発明にいう審査部としての機能に相当するものである。本実施形態では、このステップS110で、顧客情報データベース111に記憶されている情報に基づいた審査が行われるとともに、顧客口座データベース114に十分な残高が記憶されているか否かの審査や、交通事故の事故歴に基づいた審査や、保険料の滞納歴などが記載されたいわゆるブラックリストに基づいた審査なども行われる。また、顧客情報データベース111に記憶されている情報に基づいて審査が行われるので、保険の申込み直後に遅滞なく審査が行われることとなる。

## 【0052】

ステップ S 1 1 0 における審査の結果、保険契約が却下された場合（ステップ S 1 1 0 : N O ） には、図 4 に示す保険申込者顧客情報 4 0 4 に含まれている連絡先に、保険契約が却下された旨が通知される（ステップ S 1 1 1 ）。この図 2 では、連絡先として電子メールのアドレスが指定され、クライアント 1 2 によってそのアドレスに送られてきた電子メールが参照された例が示されている。

## 【 0 0 5 3 】

一方、ステップ S 1 1 0 における審査の結果、保険契約が許可された場合（ステップ S 1 1 0 : Y E S ） には、サーバ 1 1 に備えられた保険証書管理データベース 1 1 5 で保険証書が発行されて、保険契約が成立する。つまり、この保険証書管理データベース 1 1 5 は、本発明にいう契約部の一例としての機能を有するものである。保険証書管理データベース 1 1 5 では、保険証書の発行に当たり、保険証書の証券番号と審査の受理日時が発行される。また、この保険証書管理データベース 1 1 5 には、発行された保険証書を管理するための情報が記憶される。

## 【 0 0 5 4 】

図 7 は、保険証書管理データベース 1 1 5 に記憶される情報の項目を示す図である。

## 【 0 0 5 5 】

保険証書管理データベース 1 1 5 に記憶される情報 4 6 0 には、図 4 に示す各項目と同じ項目が含まれるとともに、さらに、上述したように発行された保険証書の証券番号 4 1 4 と審査の受理日時 4 1 5 が含まれる。そして、この図 7 に示す情報 4 6 0 は、以下説明する保険認証申請電文によって保険証書管理データベース 1 1 5 から、保険証書認証機関の認証装置 1 3 へと伝達される（ステップ S 1 1 2 ） 。

## 【 0 0 5 6 】

図 8 は、保険認証申請電文を表す図である。

## 【 0 0 5 7 】

この保険認証申請電文 4 8 0 は、保険証書管理データベース 1 1 5 に記憶されている情報 4 6 0 を認証装置 1 3 に伝達するための電文であり、この保険認証申

請電文 4 8 0 には、図 7 に示す各項目と同じ項目が含まれるとともに、さらに、所定のダミーデータ 4 1 6 が含まれる。

## 【 0 0 5 8 】

このような保険認証申請電文 4 8 0 によって認証装置 1 3 に情報が伝達されると、認証装置 1 3 は、契約された保険の正当性を認証するために、次の 2 つのチェックを行う（ステップ S 1 1 3）。

## 【 0 0 5 9 】

第 1 のチェックでは、保険認証申請電文 4 8 0 によって伝達されてきた情報が表す保険契約の内容が、保険証書認証機関の保険申込情報データベース 1 3 1 に保管されている情報が表す申込みの内容に一致していることがチェックされる。この第 1 のチェックにより、利用者が申し込んだ内容の保険が正しく契約されたことが確認される。

## 【 0 0 6 0 】

第 2 のチェックでは、上述した保険証書管理データベース 1 1 5 が記憶している情報と同等な情報を複数の保険会社について保管している保険証書管理データベース 1 3 2 に記憶されている情報が用いられて、同一の利用者に対する複数の保険会社における保険契約の保険金の通算金額が、法的に認められている上限額内に収まっていることがチェックされる。この第 2 のチェックにより、利用者が法的に正当な範囲内で保険を申し込んでいることが確認される。

## 【 0 0 6 1 】

これらのチェック双方ともに合格した場合には、まず、正当性が認証された保険に対する認証番号と認証日時が発行され、保険認証申請電文 4 8 0 に含まれている利用者の連絡先に、証券番号、審査受理日時、認証番号、認証日時を含んだ受付結果が通知される（ステップ S 1 1 4）。また、以下説明する保険認証申請応答電文により、認証の結果が保険会社の保険証書管理データベース 1 1 5 の情報に反映される（ステップ S 1 1 5）。

## 【 0 0 6 2 】

図 9 は、保険認証申請応答電文を示す図であり、図 1 0 は、保険認証申請応答電文によって認証の結果が反映された保険証書管理データベース 1 1 5 の情報を

示す図である。

【0063】

図9に示す保険認証申請応答電文500には、図8に示す保険認証申請電文480に含まれている各項目と同じ項目が含まれているとともに、保険認証申請電文480に含まれているダミーデータ416に替えて、保険認証機関が発行した認証番号417と認証日時418が含まれている。

【0064】

この保険認証申請応答電文500によって認証の結果が反映された保険証書管理データベース115には、図10に示すように、保険認証申請応答電文500に含まれている各項目と全く同様の各項目からなる情報520が記憶されることとなる。

【0065】

図2に示すステップS115で、認証の結果が保険証書管理データベース115に反映されるとともに、顧客口座データベース114に記憶されている残高が用いられて、保険料が精算される（ステップS116）。従って、顧客口座データベース114は、本発明にいう精算部としての機能も有するものである。

【0066】

更に、契約の正当性が認証された保険については、上述した保険認証申請応答電文500が表す情報が、保険証書認証機関の保険証書管理データベース132に保管される（ステップS117）。

【0067】

図11は、保険証書管理データベース132に保管される情報の項目を表す図である。

【0068】

保険証書管理データベース132に保管される情報540には、保険会社の保険証書管理データベース115に記憶されている、図9に示す情報500を構成する項目と全く同じ項目が含まれている。ただし、保険会社の保険証書管理データベース115には、その保険会社で契約された保険に関する情報のみが記憶されるが、保険証書認証機関の保険証書管理データベース132には、複数の保険

会社それぞれで契約された保険に関する情報が記憶される。

【0069】

なお、図2のステップS113における2つのチェックのうち的一方または双方について不合格であった場合には、利用者の連絡先（ここではクライアント12によって参照される電子メールアドレス）と、保管会社のサーバ11にエラーが通知される（ステップS118，S119）。

【0070】

以上説明した保険システム10の動作により、利用者は、任意の場所から任意の時間に保険を申し込んで、即時に保険に加入することができる。このため、種々の保険を必要に応じて細かく契約するなどといった運用が実現でき、リスクを細分化して、少ない保険料で大きな保障を得ることが可能となる。

【0071】

また、上記説明では保険加入の申込みに対応する動作について説明したが、この保険システム10は、上記説明した動作とほぼ同様の動作によって、保険内容の変更の申込みにも対応することができる。

【0072】

また、利用者が操作するクライアント12がいわゆるモバイル端末である場合には、保険システム10の有用性が特に顕著であるが、クライアント12がスタンドアローンのパーソナルコンピュータである場合や、特定の施設等に備え付けられた端末機器である場所であっても、本発明の効果は十分に発揮される。

【0073】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、審査を経る保険に迅速に加入することができる。これにより、リスクを細分化して、少ない保険料で大きな保障を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の保険サーバの一実施形態が組み込まれた、本発明の保険システムの一実施形態を示す図である。

【図 2】

保険システムの動作と詳細な構成を示す図である。

【図 3】

顧客情報データベースに記憶される情報の項目を示す図である。

【図 4】

1 次保険申込情報データベースなどに記憶される情報の項目を示す図である。

【図 5】

第 1 の保険申請電文を表す図である。

【図 6】

第 2 の保険申請電文を表す図である。

【図 7】

保険会社の保険証書管理データベースに記憶される情報の項目を示す図である。

【図 8】

保険認証申請電文を表す図である。

【図 9】

保険認証申請応答電文を示す図である。

【図 1 0】

保険認証申請応答電文によって認証の結果が反映された保険証書管理データベースの情報を示す図である。

【図 1 1】

保険証書認証機関の保険証書管理データベースに保管される情報の項目を表す図である。

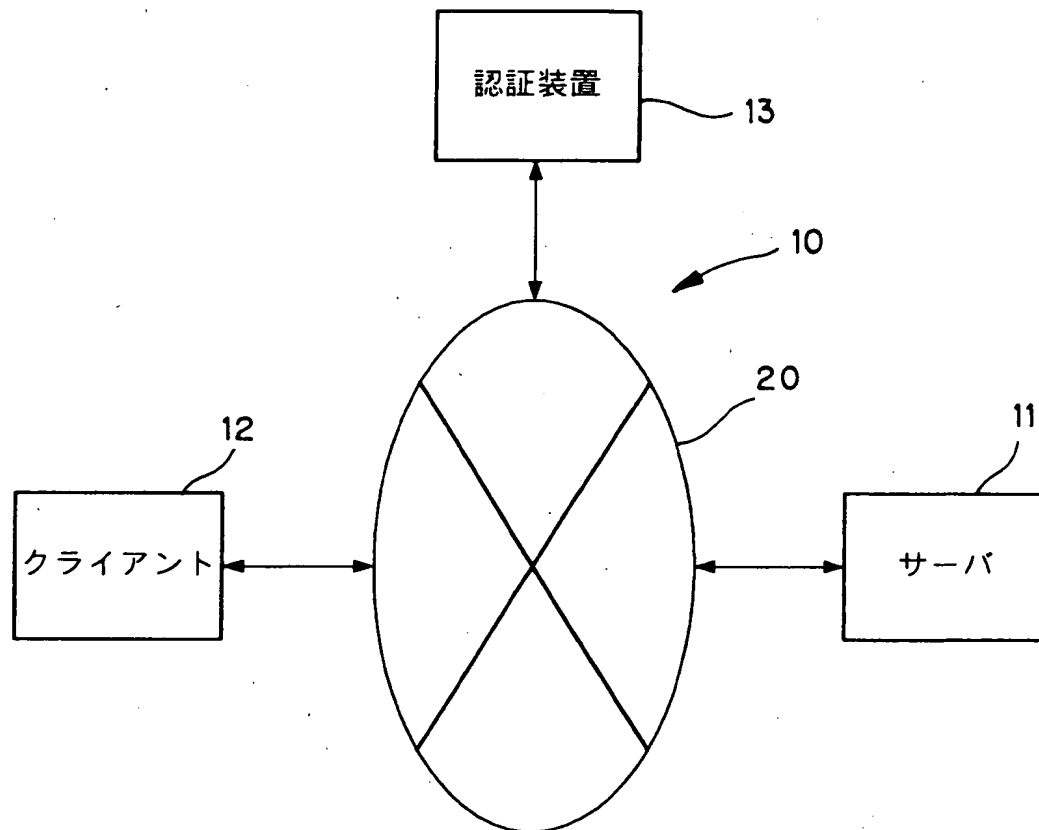
【符号の説明】

- 1 0 保険システム
- 1 1 サーバ
- 1 2 クライアント
- 1 3 認証装置
- 2 0 通信網

- 1 1 1 顧客情報データベース
- 1 1 2 1次保険申込情報データベース
- 1 1 3 2次保険申込情報データベース
- 1 1 4 顧客口座データベース
- 1 1 5 保険証書管理データベース
- 1 3 1 保険申込情報データベース
- 1 3 2 保険証書管理データベース

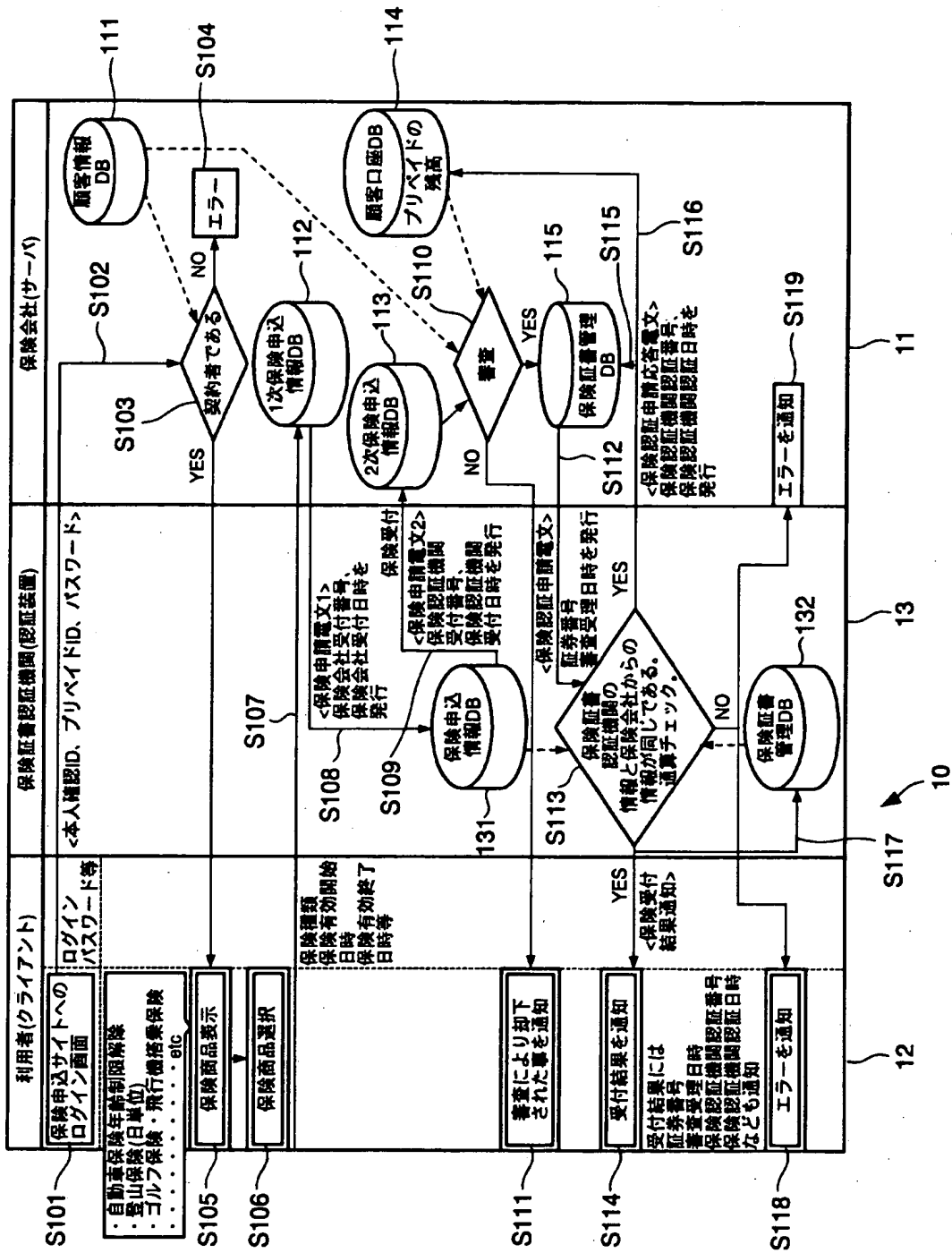
【書類名】 図面

【図 1】





【図2】



【図 3】

300  
↙

顧客情報DB	
項目名称	説明
301 本人確認ID	本人確認ID
302 プリペイドID	プリペイドカードに記載されているID
PASSWORD	パスワード
303 契約者氏名	個人情報
年齢	
住所	
性別	
...	
...	
305 前回ログイン日時	YYYYMMDDhhmmss
306 保険商品購入履歴	顧客情報(利用履歴)
...	
...	

【図 4】

400

保険申込情報DB、1次保険申込情報DB、2次保険申込情報DB	
項目名称	説明
401 保険会社コード	
402 保険支店コード	
403 保険申込電文1送信日時	
404 { 顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
...	
405 { 保険商品	保険商品の情報
...	
...	
...	
...	
406 保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
407 保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
408 保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
409 保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
410 保険認証機関受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
411 保険認証機関受付日時	YYYYMMDDhhmmss

【図5】

420  
↙

保険申請電文1	
項目名称	説明
保険会社コード	
保険支店コード	
保険申込電文1送信日時	
顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
...	
保険商品	保険商品の情報
...	
...	
...	
...	
...	
保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
DUMMY	
DUMMY	
DUMMY	
DUMMY	
DUMMY	
DUMMY	

403

412

【図6】

440

保険申請電文2	
項目名称	説明
保険会社コード	
保険支店コード	
保険申込電文1送信日時	
顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
...	
保険商品	保険商品の情報
...	
...	
...	
...	
...	
保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
410 保険認証機関受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
411 保険認証機関受付日時	YYYYMMDDhhmmss
413 {	DUMMY
	DUMMY
	DUMMY
	DUMMY

【図 7】

460

保険証券管理DB(保険会社)	
項目名称	説明
保険会社コード	
保険支店コード	
保険申込電文1送信日時	
顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
...	
保険商品	保険商品の情報
...	
...	
...	
...	
...	
保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関受付日時	YYYYMMDDhhmmss
414 保険証番	
415 審査受理日時	YYYYMMDDhhmmss

【図 8】

480

保険認証申請電文	
項目名称	説明
保険会社コード	
保険支店コード	
保険申込電文1送信日時	
顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
...	
保険商品	保険商品の情報
...	
...	
...	
...	
...	
保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険証番	
審査受理日時	YYYYMMDDhhmmss
DUMMY	
DUMMY	

416

【図 9】

500

保険認証申請応答電文	
項目名称	説明
保険会社コード	
保険支店コード	
保険申込電文1送信日時	
顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
.....	
保険商品	保険商品の情報
.....	
.....	
.....	
.....	
.....	
保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険証番	
審査受理日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関認証番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関認証日時	YYYYMMDDhhmmss



【図 1 0】

520

保険証書管理DB(保険会社)	
項目名称	説明
保険会社コード	
保険支店コード	
保険申込電文1送信日時	
顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
・・・	
保険商品	保険商品の情報
・・・	
・・・	
・・・	
・・・	
・・・	
保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険証番	
審査受理日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関認証番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関認証日時	YYYYMMDDhhmmss

【図 1 1】

540

保険証書管理DB(保険認証機関)	
項目名称	説明
保険会社コード	
保険支店コード	
保険申込電文1送信日時	
顧客氏名	保険申込者顧客情報
顧客住所	
顧客年齢	
顧客ID	
連絡先	
...	
保険商品	保険商品の情報
...	
...	
...	
...	
...	
保険有効開始日時	ブラウザで申し込んだ保険有効開始日時
保険有効終了日時	ブラウザで申し込んだ保険有効終了日時
保険会社受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険会社受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関受付番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関受付日時	YYYYMMDDhhmmss
保険証番	
審査受理日時	YYYYMMDDhhmmss
保険認証機関認証番号	当日日付4桁(MMDD)+8桁
保険認証機関認証日時	YYYYMMDDhhmmss

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 審査を経る保険に迅速に加入することを可能とする。

【解決手段】 保険サーバ11は、クライアント12から通信網を介して保険の申込みを受け付け、予め審査に必要な情報を記憶している顧客情報データベース111から情報を得て、その情報に基づいて保険加入のための審査を行い、審査に合格した場合には、顧客口座データベースに記憶されているプリペイドの残高を使って保険料を精算する。

【選択図】 図2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社